

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。なお、施工後は施主様にお渡しください。

■施工される方へお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●扉の脱落の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 ・扉のつり込みを行う場合は、扉の丁番カップが枠側の座に「カチャ」と音がするまではめ込んでください。

■施工上のお願

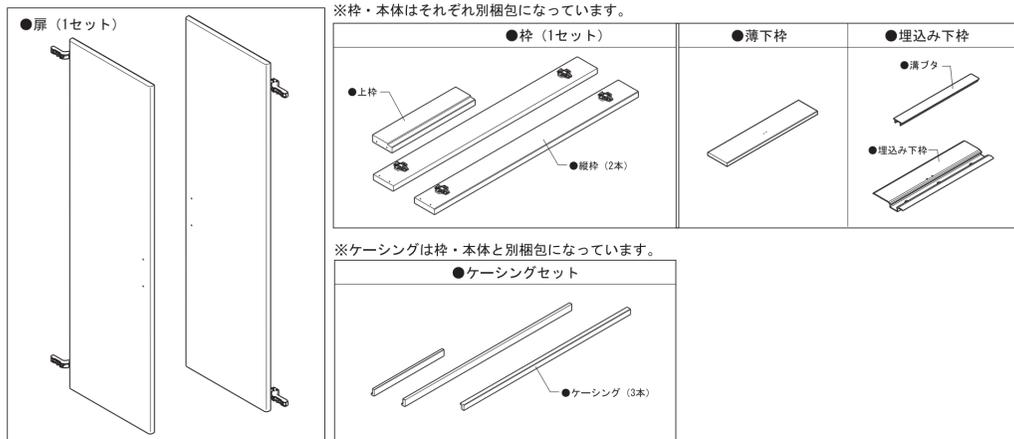
- 枠取付けの際は、水準器・下振り器等で水平垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取り付ける時は、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 本体をつり込む際、丁番3枚つり、4枚つりの扉は、最初に中間の丁番を取り付け、次に端部の丁番を取り付けてください。また、扉を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取り付けてからにしてください。

- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず透き間をつくり、かい木をいれてください。かい木は、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 下枠の納め方に応じて縦枠を切断してください。

■縦枠の切断

薄下枠	切断不要
埋込み下枠	切断（12mm）

■各部の名称



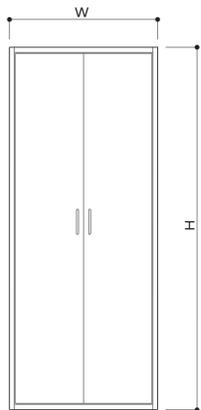
■部品セット一覧

■本体部品セット				■枠部品セット						
部品名称	把手	把手	把手取付けねじ	部品名称	枠組立てねじ	枠取付けねじ	ねじ頭キャップ	枠取付けねじ	戸当り	戸当り
呼称	(風ベシック用)	(グランドライン用)	トラス小ねじ M4	呼称	DN ビス (血木ねじ) φ3.8×65	血木ねじ φ4.5×50 (風ベシック用)	(風ベシック用)	血タッピンねじ φ4×50 (グランドライン用)	1種 φ3.5×16	2種 φ3.5×16
0709・0712 0809・0812	2	2	4 (ねじ長さ25)	0709・0712 0809・0812	4	11	11	11	1	2
0718・0818	2	2	4 (ねじ長さ25)	0718・0818	4	13	13	13	1	2
0720・0723 0820・0823 1220・1223 1320・1323	2	2	4 (ねじ長さ30)	0720・0723 0820・0823 1220・1223 1320・1323	4	15	15	15	1	2

■下枠部品セット				
下枠種類	枠組立てねじ DN ビス (血木ねじ) φ3.8×50	枠取付けねじ 血タッピンねじ 1種 φ3.5×50	縦枠下部ビス 取付けねじ 1種 φ4×20	縦枠下部ビス 取付けねじ 2種 φ4×20
薄下枠	4	-	-	-
埋込み下枠	-	2	2	2
埋込み下枠 (W12・13)	-	3	2	2

■開口部の確認

●開口部の水平・垂直を確認してください。
 ※開口部寸法が下記寸法になっていることを確認してください。
 開口H方向：H+5mm
 開口W方向：W+10mm

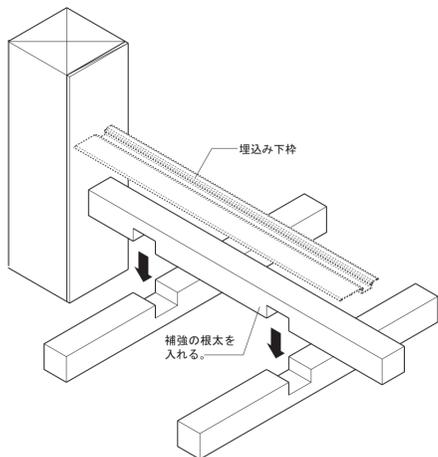


■床の張り方

[床先張り（枠後付け）の場合]

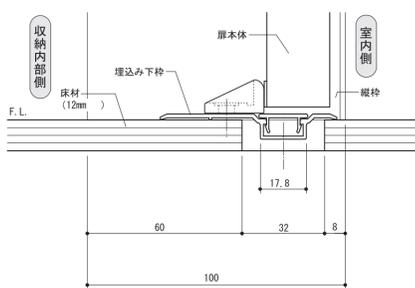
1 埋込み下枠下地の確認

●枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根張張り工法の場合は下図のように根材を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や扉開閉不具合の原因となります。



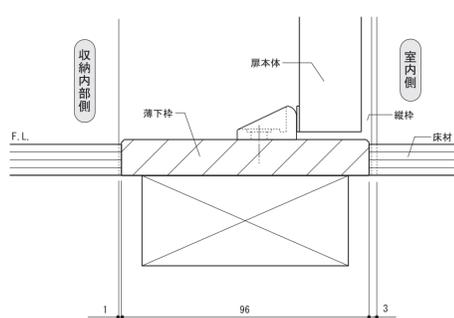
2 床張り位置（床の張り込み）

●下図の位置に32mm（最小開口25mm）あけて床材を張ってください。



[床後張り（枠先付け）の場合]

1 枠の取り付け後、縦枠・薄下枠に沿って床材を張ってください。



【お願い】

床材は必ず図の位置に張り込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床の透き間が見えたり埋込み下枠が入りにくい原因となります。

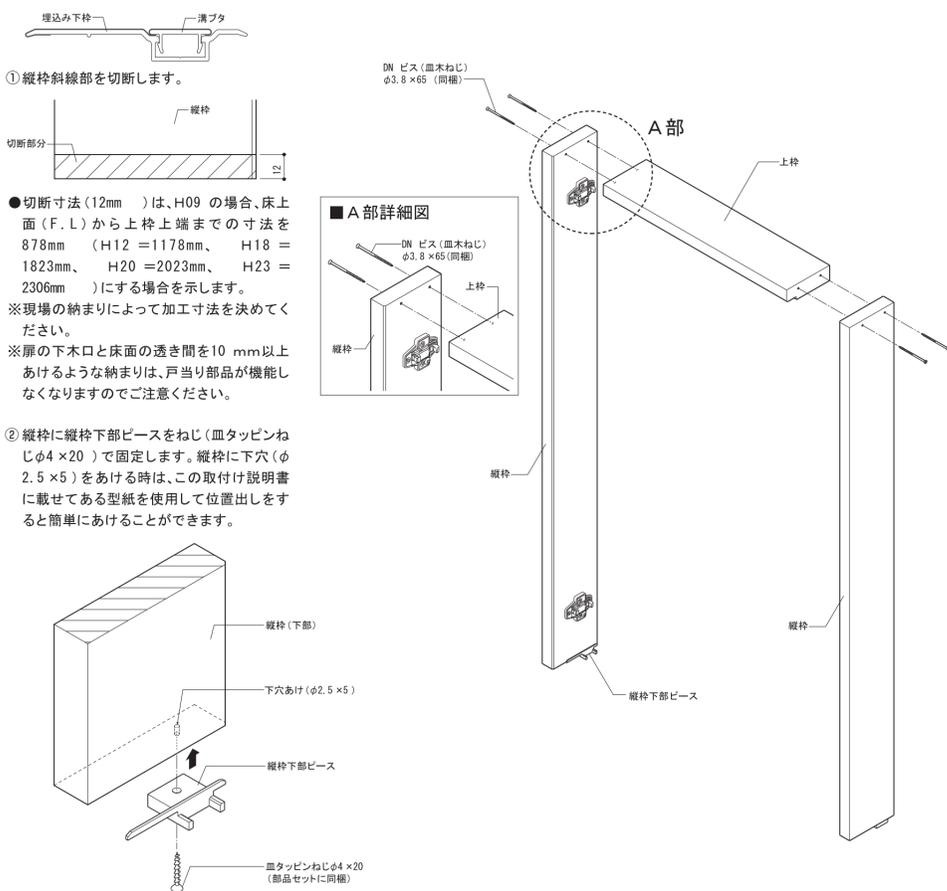
■取付け詳細

1 枠の組立て

[床先張り（枠後付け）の場合]

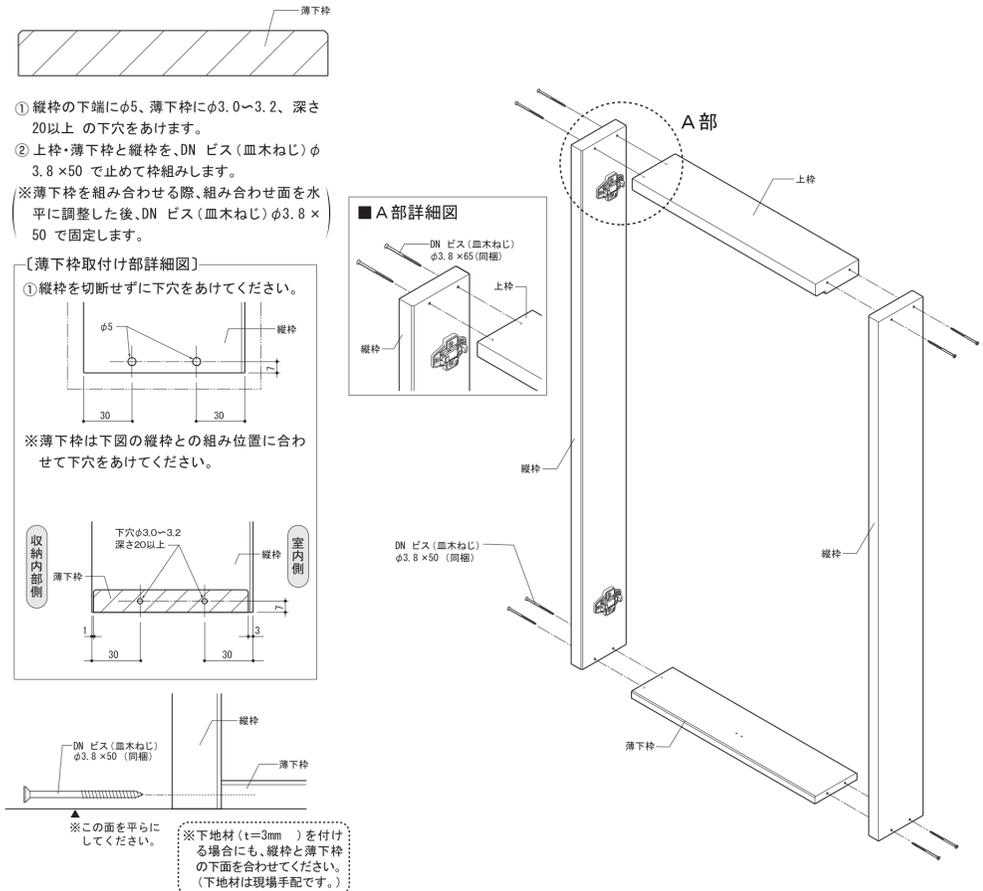
※埋込み下枠セットを使用してください。

③ 上枠と縦枠を、DN ビス（血木ねじ）φ3.8×65 で止めて枠組みします。



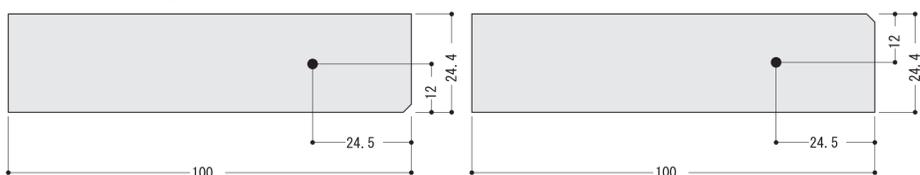
[床後張り（枠先付け）の場合]

※薄下枠セットを使用してください。

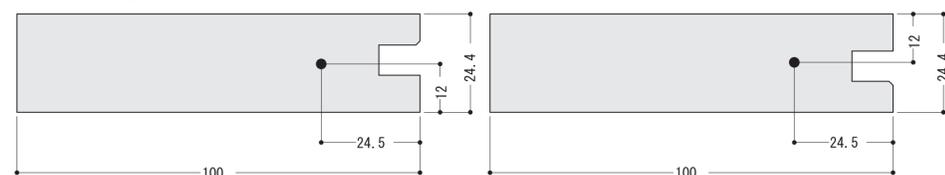


●縦枠下部ピース取付け穴加工用型紙（原寸） ※グランドラインには、ノンケーシング枠は設定されていません。

・ノンケーシング縦枠（下穴φ2.5×5）



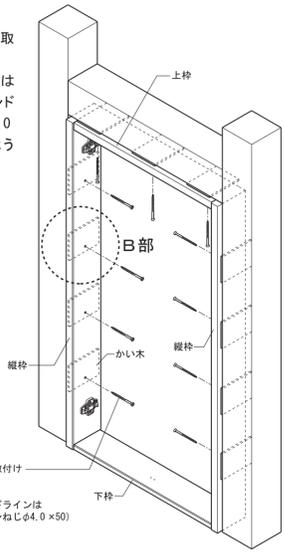
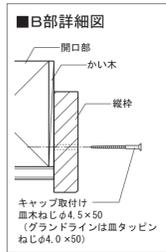
・ケーシング縦枠（下穴φ2.5×5）



2 枠の取付け

① 組み立てた枠を、開口部に取付けます。

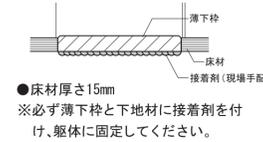
※取付けねじ (WL ベーシックは血木ねじφ4.5×50、グラウンドラインは血タッピンねじφ4.0×50) と同じピッチになるようにかい木を入れます。



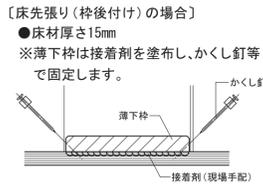
② 下枠を躯体へ固定します。

〔薄下枠の場合〕

●床材厚さ12mm
※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。

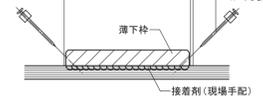


●床材厚さ15mm
※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



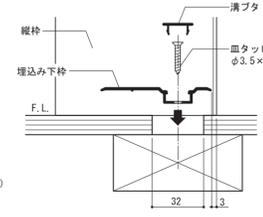
〔床先張り(枠後付け)の場合〕

●床材厚さ15mm
※薄下枠は接着剤を塗布し、かくし釘等で固定します。

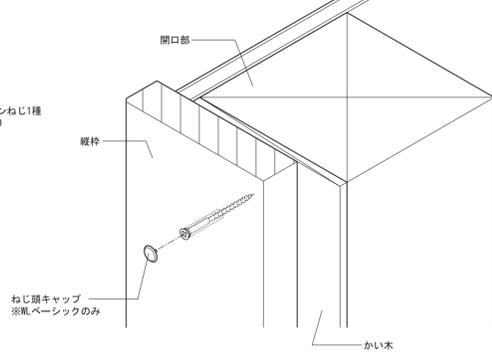


〔埋込み下枠の場合〕

●埋込み下枠を縦枠下部ピースにはめ込み、縦枠室内側端部から3mmの位置にねじ止めし、溝フタをはめ込み

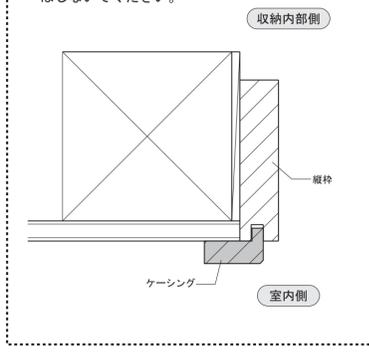


③ 枠取付けねじのねじ頭にねじ頭キャップを差し込みます。



●ケーシングタイプの取付け

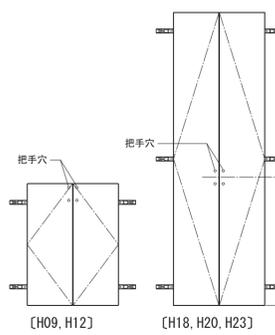
組み立てた枠を開口部に入れます。次に縦枠にケーシングを差し込み、枠の固定位置を確認します。※ケーシングの足が短いため、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。※ケーシングは、位置出しのためですから、固定はしないでください。



3 扉のつり込み

① 扉の左右勝手の確認

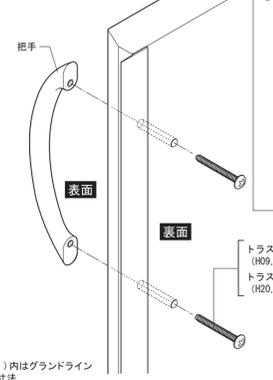
●H09, H12は把手穴が上になります。
●H18, H20, H23は、下端より上下把手穴中心までの寸法が995 (グラウンドラインは917) mmになります。



② 把手の取付け

※把手セットは本体に同梱されています。

●WLベーシック用

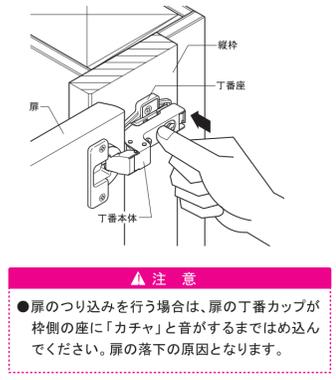


●グラウンドライン用

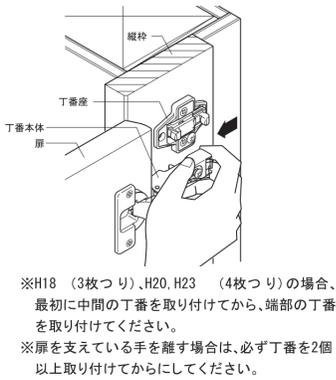


③ 扉のつり込み条件

●扉の丁番本体を縦枠の丁番座にセットし、上から押し込むだけで簡単にセットできます。



●取り外す場合は、先端のスイッチ (黒色) を押し込むと外れます。



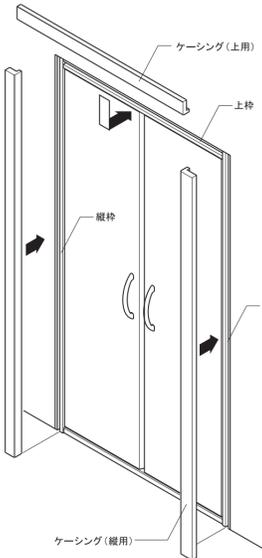
▲注意
●扉のつり込みを行う場合は、扉の丁番カブが枠側の座に「カチャ」と音がするまではめ込んでください。扉の落下の原因となります。

※H18 (3枚つり)、H20, H23 (4枚つり) の場合、最初に中間の丁番を取り付けてから、端部の丁番を取り付けてください。
※扉を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取り付けてからにしてください。

4 ケーシング枠の取付け

※壁材・床材を仕上げしてからケーシングを取り付けてください。

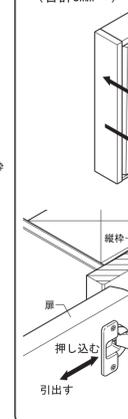
① 別梱のケーシングを現場寸法に合わせて切断します。
② 枠のケーシング溝へケーシングを差し込みます。
③ ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤を塗布し、ケーシングを固定します。
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



5 扉の建付け調整

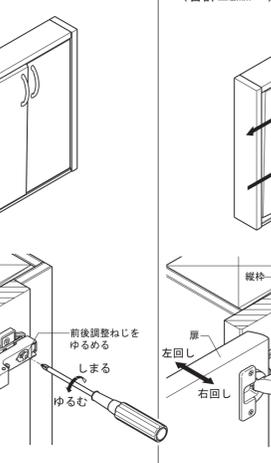
〔扉の前後調整〕

●調整範囲
前方向2mm
後方向1mm
(合計3mm)



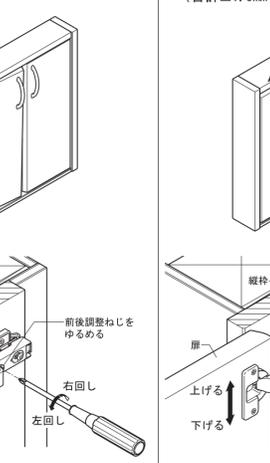
〔扉の左右調整〕

●調整範囲
(合計±2mm)



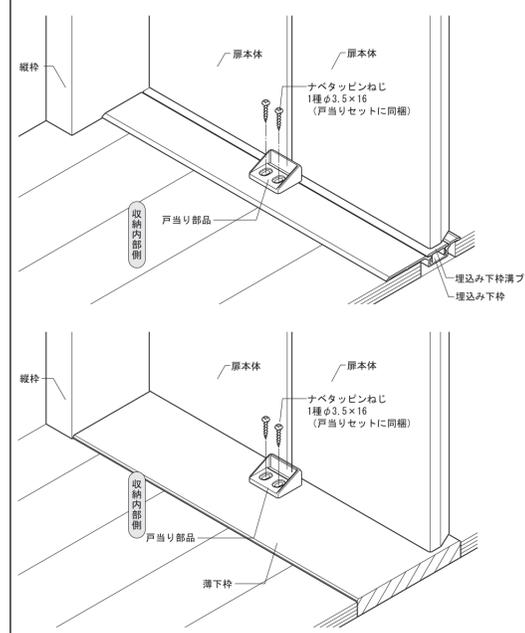
〔扉の上下調整〕

●調整範囲
(合計±1.5mm)



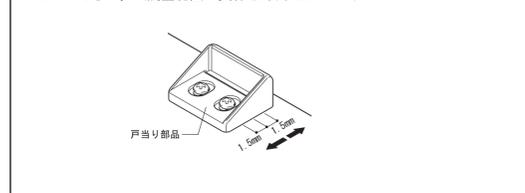
6 下部戸当りの取付け

① 扉を枠につり込み建て付け調整を行なった後、戸当り部をなべタッピンねじ1種φ3.5×16 (枠部品セットと同梱) で固定します。



7 戸当り部品の調整

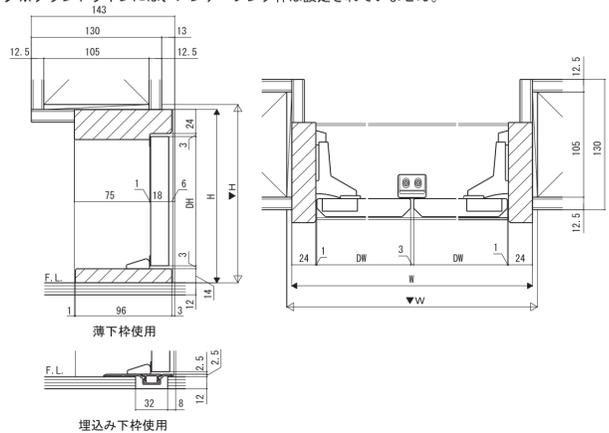
① 扉の建付け調整を行なった後、扉を閉めて戸当り部品とあたっていることを確認してください。
※扉と戸当り部品があたらぬ場合は、戸当り部品取付けねじをゆるめ調整してください。(調整範囲：奥行き方向に±1.5mm)



参考納まり図

●ノンケーシング※グラウンドラインには、ノンケーシング枠は設定されていません。

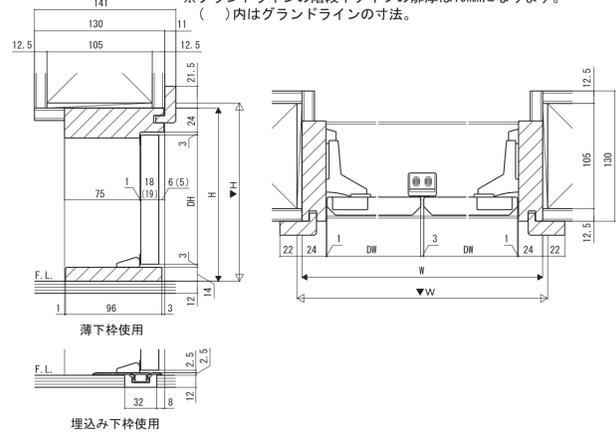
〈階段下納まり図〉



部材名称	奥込み	ノンケーシング
上枠	形材番号 945 枠幅取法 97	
縦枠	形材番号 947 枠幅取法 100	
薄下枠	形材番号 1235 枠幅取法 96	
埋込み下枠	形材番号 1242 枠幅取法 69	
溝フタ	形材番号 1014 枠幅取法 19.5	

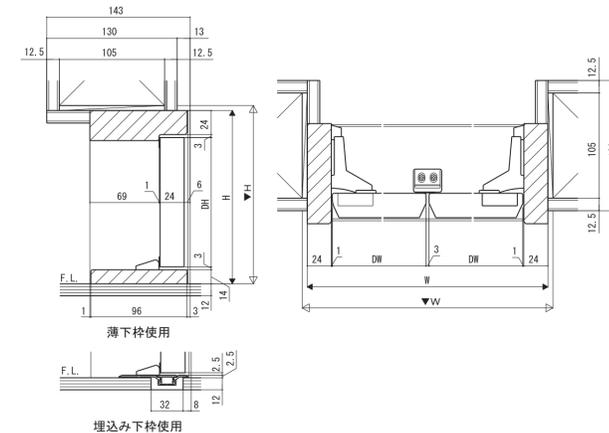
●ケーシング付き

〈階段下納まり図〉



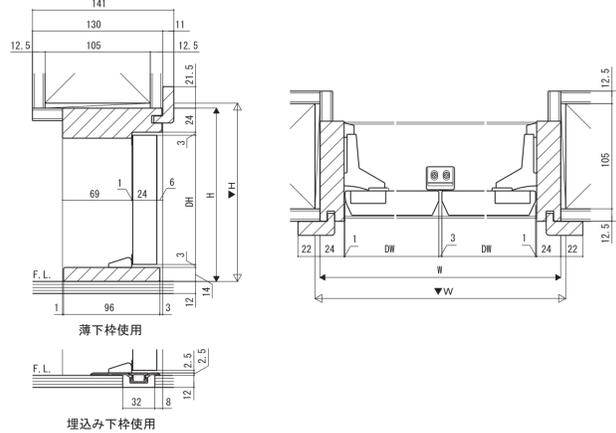
部材名称	奥込み	ケーシング付
上枠	形材番号 966 枠幅取法 97	
縦枠	形材番号 968 枠幅取法 100	
薄下枠	形材番号 1235 枠幅取法 96	
埋込み下枠	形材番号 1242 枠幅取法 69	
溝フタ	形材番号 1014 枠幅取法 19.5	
上枠用C	形材番号 683 枠幅取法 11	
縦枠用C	形材番号 679 枠幅取法 14	

〈標準納まり図〉



部材名称	奥込み	ノンケーシング
上枠	形材番号 946 枠幅取法 97	
縦枠	形材番号 947 枠幅取法 100	
薄下枠	形材番号 1235 枠幅取法 96	
埋込み下枠	形材番号 1242 枠幅取法 69	
溝フタ	形材番号 1014 枠幅取法 19.5	

〈標準納まり図〉



部材名称	奥込み	ケーシング付
上枠	形材番号 967 枠幅取法 97	
縦枠	形材番号 968 枠幅取法 100	
薄下枠	形材番号 1235 枠幅取法 96	
埋込み下枠	形材番号 1242 枠幅取法 69	
溝フタ	形材番号 1014 枠幅取法 19.5	
上枠用C	形材番号 683 枠幅取法 11	
縦枠用C	形材番号 679 枠幅取法 14	